

医療安全情報

放射線関連検査を受けられる患者さんへ



- ①レントゲン撮影に来られる方へ
- ②撮影をお待ちの方へ
- ③造影CT検査を受けられた方へ
- ④ペースメーカー、ICDをご使用の方

- ⑤MR検査を受けられる方へ(1)
- ⑥MR検査を受けられる方へ(2)
- ⑦FDG-PET検査を受けられる方へ
- ⑧放射線検査に関する被ばく

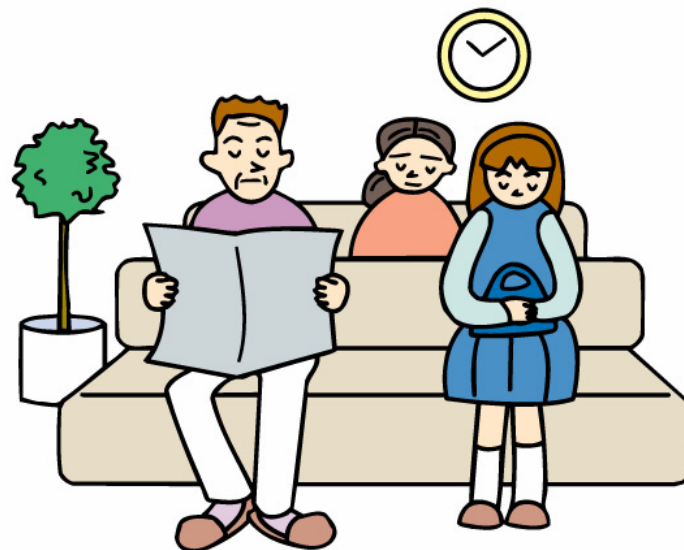
①レントゲン写真を撮影される患者さんへ



最初に放射線部受付にて、受付をしてください。

その際に安全確認のため、名前をフルネームにて確認させていただき、各撮影室ごとのカード(5、6、7、8、9、10番)をお渡ししておきます。

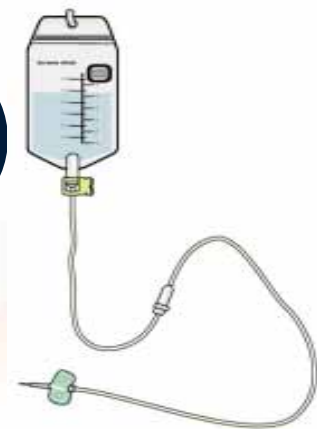
② 撮影をお待ちの患者さんへ



検査室前で長い間待っていると感じた場合は、担当技師にお伝え下さい。撮影順番等を確認いたします。

但し、撮影内容や救急患者さんを優先して 順番が後になったり、別の撮影室で撮影することがあります。ご理解のほど、宜しくお願いいたします。

③ 造影CT検査を受けられる患者さんへ

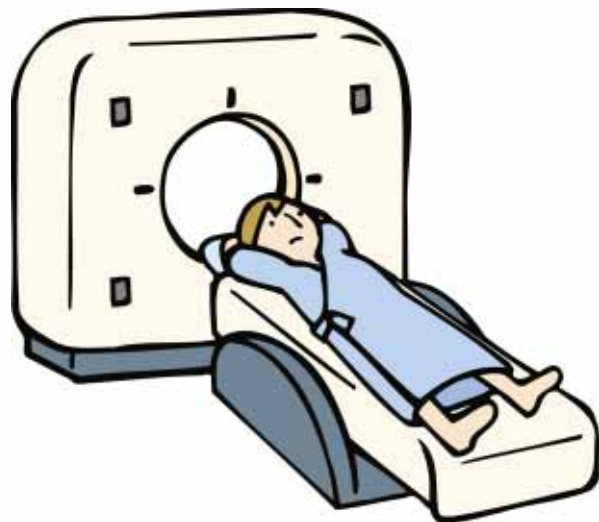


造影CT検査後には、造影剤を早く体外へ出すために水分を多めに取ってください。

検査後(1時間～数日)にまれに発疹やかゆみなどの症状があらわれることがあります。そのような症状が出た場合には、検査スタッフ又は主治医にご連絡ください。



④心臓ペースメーカー、ICDをご使用の患者さんへ



CT検査もペースメーカー、ICD確認が必要

各種ペースメーカー器機

ICD器機



約30mm

約60mm

Insync専用

Thera-i含む

ICD



CT検査を受けられる場合は、事前に担当医に心臓ペースメーカーやICDを植え込んでいることを申し出てください。

ペースメーカーもしくはICDの本体にX線束が連続的に照射されると、本体の作動に影響を及ぼすことがあります。

⑤ MR検査を受けられる患者さんへ(1)



MR検査では下記のような患者さんは検査ができない場合があります。

【MRI検査禁忌】

●心臓ペースメーカー ●MRI非対応脳動脈瘤クリップ

【検査ができない場合のある患者さん】

- 金属が体内にある方(右図参照)
- 刺青を入れている方 ●閉所恐怖症の方
- 妊娠中もしくは妊娠の可能性のある方

ご不明な点があれば担当の医師にご相談ください。

⑥ MR検査を受けられる患者さんへ(2)



検査室に入る前に金属や磁気カード等は、すべて取り外していただきます。下記の上記のものは持ち込むことができません。

【取り外していただくもの】

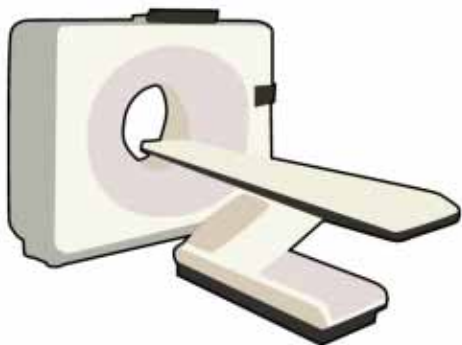
- 貴金属等や補聴器等(右図参照)
- 貼付剤, 使い捨てカイロなど
- カラーコンタクトレンズや化粧(マスカラ等)

【持ち込めないもの】

- 磁気カード, 磁気記録媒体など
- 車椅子, 金属製杖, 歩行器など



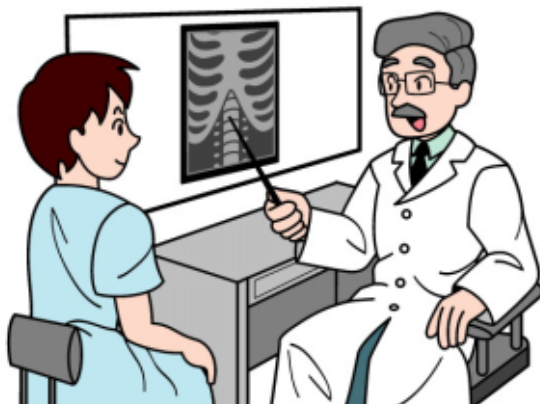
⑦ FDG-PET検査を受けられる患者さんへ



PET検査にて糖の代謝を正しく診断するために、以下の注意事項があります。

- 検査前日と当日の運動(ジョギング、水泳など)は控えてください。
- 検査4時間以上前からは、絶食にしてください。
但し、糖分を含まない飲み物(お茶、お水)を取ってください。
- 検査後も、お薬(FDG)を早く体外へ出すために積極的に水分を取ってください。

⑧放射線検査に関する被ばくについて



日常的な検査での放射線量は少なく、患者さんのお体に影響がでる心配はありません。

- **実際1回撮影での放射線量は、胸部単純撮影(0.3-0.5mGy)、腹部単純撮影(1-3mGy)腹部CT撮影(10-20mGy)ですので、一般的に問題になりません* 但し、血管造影検査は除きます。**
- **国内で国民一人が年間に受ける自然放射線量は、1.6mGyです。**
- **もし検査等でご心配がありましたら、担当医師・担当技師にご相談ください。**

